



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 太陽工機
コード番号 6164 URL <http://www.taiyokoki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 登
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年12月期第3四半期 | 4,955 | — | 573 | — | 561 | — | 344 | — |
| 27年12月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期第3四半期 | 117.15 | — |
| 27年12月期第3四半期 | — | — |

(注)当社は、平成27年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成27年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第3四半期の経営成績(累計)及び平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|--------------|-------|---|-------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年12月期第3四半期 | 5,087 | — | 3,746 | — | — | 73.7 |
| 27年12月期 | 5,022 | — | 3,461 | — | — | 68.9 |

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 3,746百万円 27年12月期 3,461百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|-------------|----------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 27年12月期 | 円 銭 0.00 | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 20.00 | 円 銭 20.00 |
| 28年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年12月期(予想) | — | — | — | 40.00 | 40.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,800 | — | 930 | — | 910 | — | 580 | — | 197.40 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年12月期は決算期の変更により、平成27年4月1日から平成27年12月31日までの9ヶ月決算となっております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-----------|-------------|---------|-------------|
| 28年12月期3Q | 2,978,200 株 | 27年12月期 | 2,978,200 株 |
|-----------|-------------|---------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|-----------|----------|---------|----------|
| 28年12月期3Q | 39,956 株 | 27年12月期 | 39,931 株 |
|-----------|----------|---------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----|
| 28年12月期3Q | 2,938,245 株 | 27年12月期3Q | — 株 |
|-----------|-------------|-----------|-----|

当社は、平成27年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成27年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成27年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成27年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

当第3四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績（平成28年1月1日から9月30日まで）が前年同期比で19.0%減少し、中国経済の減速や円高の進行等の影響を受け、先行き不透明な状態が続いております。

こうした状況下においても、当社の受注状況は内需外需ともに堅調に推移しております。国内においては自動車関連企業からの大口受注及び産業機械関連企業や工作機械関連企業、軸受関連企業からの積極的な設備投資需要を多数獲得いたしました。また海外においては、営業活動強化のため米州と欧州に技術営業スタッフを配置したことにより、現地ユーザーからの受注や引合が順調に増加してきております。

営業施策としては、本社工場を利用したプライベートショーやシカゴ国際製造技術展（IMTS2016）等の国内外の展示会に出展し、ユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズの掘り起こしを積極的に行ってまいりました。

製品面では、自動車部品等の量産加工をターゲットとした超小型立形研削盤「USG-1」を7月に発表いたしました。当機種は当社従来機に比べフロアスペースを66%削減しており、同月に開催したプライベートショーではひととき注目を集めました。

当第3四半期累計期間の受注高は4,537,458千円となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は2,760,207千円、横形研削盤は1,653,575千円、その他専用研削盤は123,675千円となりました。

生産高は4,451,623千円となりました。うち立形研削盤は3,167,823千円、横形研削盤は1,196,559千円、その他専用研削盤は87,240千円となりました。

売上高につきましては、4,955,087千円となりました。うち立形研削盤は3,462,724千円、横形研削盤は1,350,987千円、その他専用研削盤は141,375千円となりました。

損益につきましては、営業利益573,439千円、経常利益561,536千円、四半期純利益344,222千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて215,216千円増加し、3,865,919千円となりました。これは主に現金及び預金が430,182千円、仕掛品が78,739千円、関係会社短期貸付金が600,000千円増加したこと、売掛金が841,935千円、製品が18,248千円、繰延税金資産が38,494千円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて150,694千円減少し、1,221,418千円となりました。これは主に有形固定資産が152,571千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて170,530千円減少し、746,906千円となりました。これは主に未払法人税等が116,814千円、製品保証引当金が21,825千円、流動負債（その他）に含まれる未払金が48,467千円、流動負債（その他）に含まれる未払消費税が59,466千円減少したこと、買掛金が51,567千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて50,354千円減少し、593,582千円となりました。これは主にリース債務が46,917千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて285,406千円増加し、3,746,848千円となりました。これは主に利益剰余金が285,456千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期通期の業績予想につきましては、平成28年2月10日発表の「平成27年12月期決算短信（非連結）」における開示内容から変更はございません。

なお、平成28年12月期通期の配当予想につきましては、本日（平成28年11月7日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号平成28年6月17日）を第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成28年9月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 286,114 | 716,297 |
| 売掛金 | 1,978,278 | 1,136,343 |
| 製品 | 18,248 | - |
| 仕掛品 | 1,043,486 | 1,122,225 |
| 原材料及び貯蔵品 | 199,672 | 205,193 |
| 関係会社短期貸付金 | - | 600,000 |
| 繰延税金資産 | 90,566 | 52,072 |
| その他 | 35,335 | 34,786 |
| 貸倒引当金 | △1,000 | △1,000 |
| 流動資産合計 | 3,650,703 | 3,865,919 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 670,452 | 607,433 |
| 土地 | 354,269 | 297,080 |
| その他(純額) | 233,395 | 201,033 |
| 有形固定資産合計 | 1,258,118 | 1,105,546 |
| 無形固定資産 | 22,027 | 32,942 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 5,146 | 2,983 |
| その他 | 86,820 | 79,945 |
| 投資その他の資産合計 | 91,967 | 82,928 |
| 固定資産合計 | 1,372,113 | 1,221,418 |
| 資産合計 | 5,022,816 | 5,087,338 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 282,432 | 333,999 |
| 未払法人税等 | 163,075 | 46,261 |
| 製品保証引当金 | 64,076 | 42,251 |
| 役員賞与引当金 | 21,840 | 7,600 |
| その他 | 386,013 | 316,794 |
| 流動負債合計 | 917,437 | 746,906 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 610,186 | 563,268 |
| その他 | 33,750 | 30,314 |
| 固定負債合計 | 643,937 | 593,582 |
| 負債合計 | 1,561,374 | 1,340,489 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 700,328 | 700,328 |
| 資本剰余金 | 472,960 | 472,960 |
| 利益剰余金 | 2,321,871 | 2,607,327 |
| 自己株式 | △33,718 | △33,768 |
| 株主資本合計 | 3,461,441 | 3,746,848 |
| 純資産合計 | 3,461,441 | 3,746,848 |
| 負債純資産合計 | 5,022,816 | 5,087,338 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 4,955,087 |
| 売上原価 | 3,490,289 |
| 売上総利益 | 1,464,797 |
| 販売費及び一般管理費 | 891,358 |
| 営業利益 | 573,439 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 277 |
| 助成金収入 | 4,256 |
| 受取手数料 | 921 |
| 受取賃貸料 | 400 |
| その他 | 1,807 |
| 営業外収益合計 | 7,661 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 15,742 |
| 売上割引 | 67 |
| 支払手数料 | 1,002 |
| その他 | 2,752 |
| 営業外費用合計 | 19,564 |
| 経常利益 | 561,536 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 2,036 |
| 特別利益合計 | 2,036 |
| 税引前四半期純利益 | 563,572 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 178,692 |
| 法人税等調整額 | 40,657 |
| 法人税等合計 | 219,350 |
| 四半期純利益 | 344,222 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。